大学番号 私立90

注３

設置年度　　令和　　２年度

計画の区分：　研究科の設置

注１

届出

東海大学大学院 生物学研究科

注２

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人東海大学
令和３年５月１日現在

作成担当者

東海大学　高等教育担当

職名・氏名	リーダー・杉森（スギモリ） 達人（ミチヒト）、守屋（モリヤ） 智美（トモミ）
電話番号	0463-58-1211
（夜間）	0463-58-1211
ｅ－mail	ninka@tsc.u-tokai.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

２　大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院　・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し，その下欄に（　　）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例）　〇〇大学　△△学部　□□学科
（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例）
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学　△△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学　△△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科　〇〇専攻（修士課程）」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」

３　大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和３年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

生物学研究科

＜生物学専攻＞　　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３
２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７
３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１
４．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１２
５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１７
６．附帯事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２３
７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２４

1　調査対象大学等の概要等

（1）設　置　者

学校法人東海大学

（2）大　学　名

東海大学大学院

（3）調査対象大学等の位置

〒005－8601
北海道札幌市南区南沢5条1-1-1
（〒259－1292）
（神奈川県平塚市北金目4-1-1）

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（4）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ マツマエ　ヨシアキ ） 松前　義昭 （平成２６年５月）		
学　　長	（ ヤマダ　キヨシ ） 山田　清志 （平成２６年１０月）		
研　究　科　長	（　サクライ　イズミ　） 櫻井　泉 （令和２年４月）		
専　攻　長	（　サクライ　イズミ　） 櫻井　泉 （令和２年４月）		

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）令和２年度に報告済の内容　→（２）
令和３年度に報告する内容　→（３）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
・　様式は、平成２９年度開設の４年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和２年度までの５年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が４年以下の場合には欄を削除し、５年以上の場合には、欄を設けてください。）
・　留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
生物学研究科 生物学専攻 修士（理学）	理学関係	２年	8人	年次 人	16人	新規入学者を募集中	

（注）・　定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択すると
ともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	令和２年度		令和３年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
Ａ　入学定員	8人　人 （　－　） ［　－　］		8人　人 （　－　） ［　－　］		0.18　倍	－	
志願者数	3 （－） ［０］	0 （－） ［－］	2 （－） ［－］	（　） ［　］			
受験者数	3 （－） ［０］	0 （－） ［－］	2 （－） ［－］	（　） ［　］			
合格者数	3 （－） ［０］	0 （－） ［－］	2 （－） ［－］	（　） ［　］			
Ｂ　入学者数	2 （－） ［０］	0 （－） ［－］	1 （－） ［－］	（　） ［　］			
入学定員超過率Ｂ／Ａ	0.25		0.12				

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　（　）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（　））書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・　転入学生は記入しないでください。
・　［　］内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和３年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学　年	令和２年度		令和３年度		備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	2 [0] (－)	0 [－] (－)	1 [－] (－)	[ ] ( )	
２年次			2 [－] (－)	[ ] ( )	
計	2 [－] (－)		3 [－] (－)		

・令和３年５月１日　公表

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）

・　[　　]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。

・（　）内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。

・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。

・　「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 （留学生の理由は[ ]書き）
			入学した年度	退学者数	うち留学生数	
令和2年度	2 人	0 人	令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	3 人	0 人	令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
合　計		0 人		0 人	0 人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月１日現在の数字を記入してください。
・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。（在学者数から退学者数を減らす必要はありません。）
・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（〇人）」というように、その人数も含めて記入してください。
（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{2} = 0\ \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{3} = 0\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

２　授業科目の概要

＜生物学研究科　生物学専攻＞

（１）ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通科目群	総合生物学特論	1前	2			3	2				
	科学英語特論	1前	2			1					
	小計（2科目）	－									
基礎科目群	脊椎動物学特論A	1前		2			2				
	脊椎動物学特論B	1前		2				2			
	脊椎動物学特論C	1前		2				1			
	無脊椎動物学特論	1後		2		1					
	数理生物学特論	1後		2		1	1				
	大気海洋環境学特論	1後		2		1					
	小計（6科目）	－									
生命科学科目群	動物生理学特論	1前		2		2					
	栄養生理学特論	1後		2		1					
	組織学特論	1後		2		1					
	環境生理学特論	2前		2		1					
	生殖生物学特論	1後		2		1					
	小計（5科目）	－									
生態科学科目群	動物生態学特論	1後		2			1	1			
	保全生態学特論	1後		2			1	1			
	動物地理学特論	2前		2			1	1			
	多様性生物学特論	1後		2			1	1			
	生態系モデリング学特論	2前		2			1				
	小計（5科目）	－									
研究ゼミナール	生物学研究ゼミナール1	1前	2			7	3	3			
	生物学研究ゼミナール2	1後	2			7	3	3			
	生物学研究ゼミナール3	2前	2			7	3	3			
	生物学研究ゼミナール4	2後	2			7	3	3			
	小計（4科目）	－									
合計（22科目）		－									

卒業要件及び履修方法

共通学科目群より「総合生物学特論」と「科学英語特論」の4単位、および「生物学研究ゼミナール1」～「生物学研究ゼミナール4」の8単位を含む32単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で修士論文を提出し、その審査及び最終試験に合格すること。

【令和３年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通科目群	総合生物学特論	1前	2			4	1				
	科学英語特論	1前	2			1					
	小計（2科目）	－									
基礎科目群	脊椎動物学特論A	1前		2		1	1				
	脊椎動物学特論B	1前		2				2			
	脊椎動物学特論C	1前		2			1	0			
	無脊椎動物学特論	1後		2		1					
	数理生物学特論	1後		2		1	1				
	大気海洋環境学特論	1後		2		1					
	小計（6科目）	－									
生命科学科目群	動物生理学特論	1前		2		2					
	栄養生理学特論	1後		2		1					
	組織学特論	1後		2		1					
	環境生理学特論	2前		2		1					
	生殖生物学特論	1後		2		1					
	小計（5科目）	－									
生態科学科目群	動物生態学特論	1後		2		1	0	1			
	保全生態学特論	1後		2			1	1			
	動物地理学特論	2前		2		1	0	1			
	多様性生物学特論	1後		2			2	0			
	生態系モデリング学特論	2前		2			1				
	小計（5科目）	－									
研究ゼミナール	生物学研究ゼミナール1	1前	2			8	3	2			
	生物学研究ゼミナール2	1後	2			8	3	2			
	生物学研究ゼミナール3	2前	2			8	3	2			
	生物学研究ゼミナール4	2後	2			8	3	2			
	小計（4科目）	－									
合計（22科目）		－									

卒業要件及び履修方法

共通学科目群より「総合生物学特論」と「科学英語特論」の4単位、および「生物学研究ゼミナール1」～「生物学研究ゼミナール4」の8単位を含む32単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で修士論文を提出し、その審査及び最終試験に合格すること。

【令和２年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
共通科目群	総合生物学特論	1前	2			3	2				
	科学英語特論	1前	2			1					
	小計（2科目）	－									
基礎科目群	脊椎動物学特論A	1前		2			2				
	脊椎動物学特論B	1前		2				2			
	脊椎動物学特論C	1前		2				1			
	無脊椎動物学特論	1後		2		1					
	数理生物学特論	1後		2		1	1				
	大気海洋環境学特論	1後		2		1					
	小計（6科目）	－									
生命科学科目群	動物生理学特論	1前		2		2					
	栄養生理学特論	1後		2		1					
	組織学特論	1後		2		1					
	環境生理学特論	2前		2		1					
	生殖生物学特論	1後		2		1					
	小計（5科目）	－									
生態科学科目群	動物生態学特論	1後		2			1	1			
	保全生態学特論	1後		2			1	1			
	動物地理学特論	2前		2			1	1			
	多様性生物学特論	1後		2			1	1			
	生態系モデリング学特論	2前		2			1				
	小計（5科目）	－									
研究ゼミナール	生物学研究ゼミナール1	1前	2			7	3	3			
	生物学研究ゼミナール2	1後	2			7	3	3			
	生物学研究ゼミナール3	2前	2			7	3	3			
	生物学研究ゼミナール4	2後	2			7	3	3			
	小計（4科目）	－									
合計（22科目）		－									

卒業要件及び履修方法

共通学科目群より「総合生物学特論」と「科学英語特論」の4単位、および「生物学研究ゼミナール1」～「生物学研究ゼミナール4」の8単位を含む32単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で修士論文を提出し、その審査及び最終試験に合格すること。

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
・　「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
・　１ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）
・　専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

（１）ー②授業科目表に関する変更内容

【令和２年度】

特になし。

【令和３年度】

担当教員が昇格したことに伴い、専任教員等の配置を次のとおり変更した。
「総合生物学特論」（教授3准教授2⇒教授4准教授1）、「脊椎動物学特論Ａ」（准教授2⇒教授1准教授1）
「脊椎動物学特論Ｃ」（講師1⇒准教授1）、「動物生態学特論」（准教授1⇒教授1）
「動物地理学特論」（准教授1⇒教授1）、「多様性生物学特論」（准教授1講師1⇒准教授2）
「生物学研究ゼミナール１」（教授7准教授3講師3⇒教授8准教授3講師2）
「生物学研究ゼミナール２」（教授7准教授3講師3⇒教授8准教授3講師2）
「生物学研究ゼミナール３」（教授7准教授3講師3⇒教授8准教授3講師2）
「生物学研究ゼミナール４」（教授7准教授3講師3⇒教授8准教授3講師2）

（注）・　２（１）ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
6 科目	16 科目	0 科目	22 科目	6 科目 [－]	16 科目 [－]	0 科目 [－]	22 科目 [－]	

（注）・　未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［　］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
・　専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
・　専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

（注）・　授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{0}{22} = 0\%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・　「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	用途変更に伴う変更（2） 土地の売却および用途変更に伴う変更（3）
	校舎敷地	~~1,609,801.12㎡~~ ~~1,680,407.08㎡~~ 1,770,691.41㎡	2,052.88㎡	0.00㎡	~~1,611,854.00㎡~~ ~~1,682,459.96㎡~~ 1,772,744.29㎡	
	運動場用地	~~421,731.97㎡~~ 396,797.97㎡	0.00㎡	0.00㎡	~~421,731.97㎡~~ 396,797.97㎡	
	小計	~~2,031,533.09㎡~~ ~~2,077,205.05㎡~~ 2,167,489.38㎡	2,052.88㎡	0.00㎡	~~2,033,585.97㎡~~ ~~2,079,257.93㎡~~ 2,169,542.26㎡	
	その他	~~219,768.53㎡~~ ~~316,979.76㎡~~ 211,174.74㎡	0.00㎡	0.00㎡	~~219,768.53㎡~~ ~~316,979.76㎡~~ 211,174.74㎡	
	合計	~~2,251,301.62㎡~~ ~~2,394,184.81㎡~~ 2,378,664.14㎡	2,052.88㎡	0.00㎡	~~2,253,354.50㎡~~ ~~2,396,237.69㎡~~ 2,380,717.02㎡	
(2) 校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	用途の見直し等に伴う変更（2） 用途の見直し等に伴う変更（3）
		~~580,908.23㎡~~ ~~508,835.38㎡~~ 507,523.10㎡ （~~580,908.23㎡~~） （~~508,835.38㎡~~） （507,523.10㎡）	0.00㎡ （0.00㎡）	0.00㎡ （0.00㎡）	~~580,976.38㎡~~ 580,908.23㎡ （~~580,908.23㎡~~） （~~508,835.38㎡~~） （507,523.10㎡）	

(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	用途の見直し等に伴う変更（2） 用途の見直し等に伴う変更（3）
	~~466室~~ ~~437室~~ 453室	~~231室~~ ~~329室~~ 325室	~~1,372室~~ ~~1,191室~~ 1,217室	~~89室~~ 86室 ~~（補助職員13人）~~ ~~（補助職員21人）~~ （補助職員20人）	~~6室~~ ~~7室~~ 6室 （補助職員　0人）	

(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室数	
	生物学研究科　生物学専攻学科	13室	

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	備考
	生物学研究科	16,500[2,900] (14,986[2,629]) ~~(15,818[2,775])~~ (16,651[2,921])	3,380[3,060] (3,376[3,056]) ~~(3,380[3,059])~~ (3,383[3,062])	3,180[3,005] (3,175[3,000]) ~~(3,178[3,003])~~ (3,181[3,006])	150 (146) ~~(149)~~ (154)	0 (0) (0) (0)	0 (0) (0) (0)	下段には令和２年５月現在の数字を記入（2） 下段には令和３年５月現在の数字を記入（3）
	計	16,500[2,900] (14,986[2,629]) ~~(15,818[2,775])~~ (16,651[2,921])	3,380[3,060] (3,376[3,056]) ~~(3,380[3,059])~~ (3,383[3,062])	3,180[3,005] (3,175[3,000]) ~~(3,178[3,003])~~ (3,181[3,006])	150 (146) ~~(149)~~ (154)	0 (0) (0) (0)	0 (0) (0) (0)	

(6) 図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	見直しによる変更（2）
	~~21,620.00㎡~~ 20,494.00㎡	~~3,567席~~ 3,568席	2,248,166冊	

(7) 体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要		校舎の閉鎖に伴う用地の再計算による変更（2）
	~~34,224.13㎡~~ 24,060.79㎡	400mトラック　1面		

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度
経費の見積り	教員１人当り研究費等	280千円	280千円	図書購入費	1,743千円	1,743千円	1,743千円
	共同研究費等	16,534千円	16,534千円	設備購入費	500千円	1,200千円	1,060千円

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,396千円	1,146千円	― 千円	― 千円	― 千円	― 千円

学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常経費補助金、資産の運用、手数料及び国庫助成金等

（注）・　設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和３年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（２）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４．既設大学等の状況

大学の名称	東海大学						学生募集停止学科数	10	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
文学部		370	－	1485		1.00	1.04	－	昭和25	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
文明学科	4	60	－	240	学士（文学）	1.04	1.13	－	平成13	同上	
ｱｼﾞｱ文明学科	4	－	－	－	学士（文学）	－	－	－	平成13	同上	平成30年度より学生募集停止
ﾖｰﾛｯﾊﾟ文明学科	4	－	－	－	学士（文学）	－	－	－	平成13	同上	平成30年度より学生募集停止
ｱﾒﾘｶ文明学科	4	－	－	－	学士（文学）	－	－	－	平成13	同上	平成30年度より学生募集停止
北欧学科	4	－	－	－	学士（文学）	－	－	－	昭和42	同上	平成30年度より学生募集停止
歴史学科		130	－	525		0.99	0.97	－	昭和35	同上	
日本史専攻	4	50	－	205	学士（文学）	1.00	0.90	－	昭和58	同上	平成30年度より定員変更（△5）
東洋史専攻	4	－	－	－	学士（文学）	－	－	－	昭和58	同上	平成30年度より学生募集停止
西洋史専攻	4	50	－	200	学士（文学）	0.97	1.00	－	昭和58	同上	
考古学専攻	4	30	－	120	学士（文学）	1.03	1.06	－	昭和58	同上	
日本文学科	4	90	－	360	学士（文学）	1.01	1.11	－	平成13	同上	
文芸創作学科	4	－	－	－	学士（文学）	－	－	－	平成13	同上	平成30年度より学生募集停止
英語文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	4	90	－	360	学士（文学）	0.97	1.02	－	昭和35	同上	
広報ﾒﾃﾞｨｱ学科	4	－	－	－	学士（文学）	－	－	－	平成13	同上	平成30年度より学生募集停止
心理・社会学科	4	－	－	－	学士（文学）	－	－	－	平成13	同上	平成30年度より学生募集停止
文化社会学部		450	－	1350		1.02	1.07	－	平成30	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
ｱｼﾞｱ学科	4	70	－	210	学士（文化社会学）	1.05	1.11	－	平成30	同上	
ﾖｰﾛｯﾊﾟ・ｱﾒﾘｶ学科	4	70	－	210	学士（文化社会学）	0.99	1.00	－	平成30	同上	
北欧学科	4	60	－	180	学士（文化社会学）	1.04	1.13	－	平成30	同上	
文芸創作学科	4	60	－	180	学士（文化社会学）	1.01	1.01	－	平成30	同上	
広報ﾒﾃﾞｨｱ学科	4	100	－	300	学士（文化社会学）	1.04	1.13	－	平成30	同上	
心理・社会学科	4	90	－	270	学士（文化社会学）	1.00	1.02	－	平成30	同上	
政治経済学部		480	－	1890		1.00	1.06	－	昭和41	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
政治学科	4	160	－	630	学士（政治学）	1.02	1.08	－	昭和41	同上	
経済学科	4	160	－	630	学士（経済学）	0.98	1.04	－	昭和41	同上	
経営学科	4	160	－	630	学士（経営学）	1.00	1.06	－	昭和49	同上	
法学部		300	－	1200		1.02	1.08	－	昭和61	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
法律学科	4	300	－	1200	学士（法学）	1.02	1.08	－	昭和61	同上	
教養学部		330	－	1320		1.02	1.03	－	昭和43	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
人間環境学科		160	－	640		0.99	0.98	－	昭和43	同上	
自然環境課程	4	65	－	260	学士（教養学）	0.95	0.90	－	昭和43	同上	
社会環境課程	4	95	－	380	学士（教養学）	1.01	1.03	－	昭和43	同上	
芸術学科		90	－	360		1.05	1.08	－	昭和43	同上	
音楽学課程	4	32	－	128	学士（教養学）	1.06	1.15	－	昭和43	同上	
美術学課程	4	20	－	80	学士（教養学）	1.01	0.80	－	昭和43	同上	
ﾃﾞｻﾞｲﾝ学課程	4	38	－	152	学士（教養学）	1.07	1.18	－	昭和43	同上	
国際学科	4	80	－	320	学士（教養学）	1.06	1.07	－	昭和47	同上	

体育学部		480	—	1880		1.00	1.01	—	昭和42	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
体育学科	4	110	—	430	学士（体育学）	0.98	1.00	—	昭和42	同上	平成30年度より定員変更（10）
競技ｽﾎﾟｰﾂ学科	4	140	—	550	学士（体育学）	1.04	1.10	—	平成16	同上	平成30年度より定員変更（10）
武道学科	4	60	—	235	学士（体育学）	1.00	0.96	—	昭和43	同上	平成30年度より定員変更（5）
生涯ｽﾎﾟｰﾂ学科	4	110	—	430	学士（体育学）	0.97	0.91	—	昭和46	同上	平成30年度より定員変更（10）
ｽﾎﾟｰﾂ･ﾚｼﾞｬｰﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学科	4	60	—	235	学士（体育学）	1.02	1.06	—	平成16	同上	平成30年度より定員変更（5）
健康学部		200	—	600		1.02	1.03	—	平成30	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
健康ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学科	4	200	—	600	学士（健康ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学）	1.02	1.03	—	平成30	同上	
理学部		320	—	1280		0.99	1.04	—	昭和39	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
数学科	4	80	—	320	学士（理学）	0.98	1.01	—	昭和39	同上	
情報数理学科	4	80	—	320	学士（理学）	1.01	1.07	—	昭和49	同上	
物理学科	4	80	—	320	学士（理学）	1.00	1.06	—	昭和39	同上	
化学科	4	80	—	320	学士（理学）	0.98	1.02	—	昭和39	同上	
情報理工学部		200	—	800		1.03	1.04	—	平成13	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
情報科学科	4	100	—	400	学士（工学）	1.04	1.04	—	平成13	同上	
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ応用工学科	4	100	—	400	学士（工学）	1.03	1.05	—	平成13	同上	
工学部		1390	—	5630		0.99	0.92	—	昭和25	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
生命化学科	4	100	—	400	学士（工学）	0.95	0.89	—	平成13	同上	
応用化学科	4	80	—	320	学士（工学）	1.00	1.07	—	平成13	同上	
光・画像工学科	4	60	—	240	学士（工学）	1.07	1.08	—	平成18	同上	
原子力工学科	4	40	—	160	学士（工学）	0.85	0.57	—	平成18	同上	
電気電子工学科	4	140	—	560	学士（工学）	1.05	1.11	—	平成18	同上	
材料科学科	4	80	—	320	学士（工学）	0.89	0.68	—	昭和41	同上	
建築学科	4	200	—	800	学士（工学）	1.05	1.05	—	昭和41	同上	
土木工学科	4	120	—	480	学士（工学）	1.00	0.95	—	昭和41	同上	
精密工学科	4	80	—	320	学士（工学）	0.98	0.92	—	昭和46	同上	
機械工学科	4	140	—	570	学士（工学）	0.99	0.97	—	昭和46	同上	平成30年度より定員変更（△10）
動力機械工学科	4	150	—	650	学士（工学）	0.97	0.79	—	昭和46	同上	平成30年度より定員変更（△50）
航空宇宙学科		140	—	570		0.91	0.64	—	昭和42	同上	平成30年度より定員変更（△10）
航空宇宙学専攻	4	90	—	370	学士（工学）	1.03	1.00	—	昭和42	同上	平成30年度より定員変更（△10）
航空操縦学専攻	4	50	—	200	学士（工学）	0.71	0.00	—	昭和42	同上	令和3年度学生募集なし
医用生体工学科	4	60	—	240	学士（工学）	1.06	1.21	—	平成22	神奈川県平塚市北金目4-1-1 神奈川県伊勢原市下糟屋143	
観光学部		200	—	800		1.04	1.11	—	平成22	神奈川県平塚市北金目4-1-1 東京都渋谷区富ヶ谷2-28-4	
観光学科	4	200	—	800	学士（観光学）	1.04	1.11	—	平成22	同上	
情報通信学部		320	—	1280		1.01	1.01	—	平成20	東京都港区高輪2-3-23	
情報ﾒﾃﾞｨｱ学科	4	80	—	320	学士（工学）	0.98	1.00	—	平成20	同上	
組込みｿﾌﾄｳｪｱ工学	4	80	—	320	学士（工学）	1.06	1.01	—	平成20	同上	
経営ｼｽﾃﾑ工学科	4	80	—	320	学士（工学）	1.00	1.07	—	平成20	同上	
通信ﾈｯﾄﾜｰｸ工学科	4	80	—	320	学士（工学）	1.01	0.98	—	平成20	同上	

海洋学部		530	―	2120		0.97	0.90	―	昭和37	静岡県静岡市清水区折戸3-20-1	
海洋文明学科	4	80	―	320	学士(海洋学)	0.92	0.67	―	平成16	同上	
環境社会学科	4	80	―	320	学士(海洋学)	1.05	1.07	―	平成23	同上	
海洋地球科学科	4	80	―	320	学士(海洋学)	0.98	0.88	―	平成23	同上	
水産学科	4	120	―	480	学士(海洋学)	1.04	1.07	―	平成18	同上	
海洋生物学科	4	90	―	360	学士(海洋学)	1.02	1.05	―	平成18	同上	
航海工学科		80	―	320		0.75	0.58	―	平成23	同上	
航海学専攻	4	20	―	80	学士(海洋学)	0.96	1.00	―	平成23	同上	
海洋機械工学専	4	60	―	240	学士(海洋学)	0.68	0.45	―	平成23	同上	
医学部		203	―	960		0.91	0.97	令和2	昭和49	神奈川県伊勢原市下糟屋143	
医学科	6	118	―	705	学士(医学)	0.88	0.97	令和2	昭和49	同上	定員変更延長（8）
看護学科	4	85	―	255	学士(看護学)	0.97	0.96	―	平成30	同上	
健康科学部		―	―	―		―	―	―	平成7	神奈川県伊勢原市下糟屋143	平成30年度より学生募集停止
看護学科	4	―	―	―	学士(看護学)	―	―	―	平成7	同上	平成30年度より学生募集停止
社会福祉学科	4	―	―	―	学士（社会福祉学）	―	―	―	平成7	同上	平成30年度より学生募集停止
経営学部		230	―	920		1.01	1.01	―	平成25	熊本県熊本市東区渡鹿9-1-1	
経営学科	4	150	―	600	学士(経営学)	1.09	1.20	―	平成25	同上	
観光ﾋﾞｼﾞﾈｽ学科	4	80	―	320	学士(経営学)	0.89	0.67	―	平成25	同上	
基盤工学部		140	―	560		0.75	0.74	―	平成25	熊本県熊本市東区渡鹿9-1-1	
電気電子情報工学	4	80	―	320	学士(工学)	0.72	0.67	―	平成25	同上	
医療福祉工学科	4	60	―	240	学士(工学)	0.79	0.83	―	平成25	同上	
農学部		230	―	920		0.83	0.69	―	平成20	熊本県阿蘇郡南阿蘇村河陽	
応用植物科学科	4	80	―	320	学士(農学)	0.87	0.70	―	平成20	同上	
応用動物科学科	4	80	―	320	学士(農学)	0.81	0.72	―	平成20	同上	
ﾊﾞｲｵｻｲｴﾝｽ学科	4	70	―	280	学士(農学)	0.80	0.64	―	平成20	同上	
国際文化学部		260	―	1040		1.00	1.01	―	平成20	北海道札幌市南区南沢5条1-1-1	
地域創造学科	4	110	―	440	学士(教養学)	1.06	1.07	―	平成20	同上	
国際ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学科	4	80	―	320	学士(教養学)	1.07	1.17	―	平成20	同上	
ﾃﾞｻﾞｲﾝ文化学科	4	70	―	280	学士(教養学)	0.87	0.74	―	平成24	同上	
生物学部		140	―	560		1.00	1.00	―	平成24	北海道札幌市南区南沢5条1-1-1	
生物学科	4	70	―	280	学士(理学)	1.00	1.01	―	平成24	同上	
海洋生物科学科	4	70	―	280	学士(理学)	1.01	0.98	―	平成24	同上	
大学全体		6773	―	26595	－	0.94	0.98	―	―	－	

大学の名称	東海大学大学院						学生募集停止学科数	1	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				
総合理工学研究科									平成17	神奈川県平塚市北金目4-1-1 等	
総合理工学専攻　博士課程	3	35	—	105	博士（理学）・博士（工学）	0.39	0.17	—	平成17	同上	
地球環境科学研究科									平成17	神奈川県平塚市北金目4-1-1 等	令和３年度より学生募集停止
地球環境科学専攻　博士課程	3	—	—	—	—	—	—	—	平成17	同上	令和３年度より学生募集停止
生物科学研究科									平成17	神奈川県平塚市北金目4-1-1 等	
生物科学専攻　博士課程	3	10	—	30	博士（理学）・博士（農学）・博士（水産学）	0.10	0.10	—	平成17	同上	
文学研究科									昭和44	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
文明研究専攻　博士課程前期	2	8	—	16	修士（文学）	0.31	0.25	—	昭和49	同上	
文明研究専攻　博士課程後期	3	4	—	12	博士（文学）	0.33	0.00	—	昭和51	同上	
史学専攻　博士課程前期	2	8	—	16	修士（文学）	0.43	0.75	—	昭和44	同上	
史学専攻　博士課程後期	3	4	—	12	博士（文学）	0.00	0.00	—	昭和46	同上	
日本文学専攻　博士課程前期	2	8	—	16	修士（文学）	0.87	0.62	—	昭和49	同上	
日本文学専攻　博士課程後期	3	4	—	12	博士（文学）	0.33	0.00	—	昭和51	同上	
英文学専攻　博士課程前期	2	4	—	8	修士（文学）	0.12	0.00	—	昭和44	同上	
英文学専攻　博士課程後期	3	2	—	6	博士（文学）	0.00	0.00	—	昭和46	同上	
ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学専攻　博士課程前期	2	8	—	16	修士（文学）	0.43	0.50	—	昭和49	同上	
ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ学専攻　博士課程後期	3	4	—	12	博士（文学）	0.00	0.00	—	昭和51	同上	
観光学専攻　修士課程	2	8	—	16	修士（観光学）	0.37	0.37	—	平成26	同上	
政治学研究科									昭和46	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
政治学専攻　博士課程前期	2	10	—	20	修士（政治学）	0.05	0.00	—	昭和46	同上	
政治学専攻　博士課程後期	3	5	—	15	博士（政治学）	0.00	0.00	—	昭和48	同上	
経済学研究科									昭和54	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
応用経済学専攻　博士課程前期	2	10	—	20	修士（経済学）	0.15	0.20	—	昭和54	同上	
応用経済学専攻　博士課程後期	3	5	—	15	博士（経済学）	0.13	0.40	—	昭和56	同上	
法学研究科									平成2	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
法律学専攻　博士課程前期	2	10	—	20	修士（法学）	0.05	0.10	—	平成16	同上	
法律学専攻　博士課程後期	3	5	—	15	博士（法学）	0.00	0.00	—	平成5	同上	
人間環境学研究科									平成19	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
人間環境学専攻　修士課程	2	10	—	20	修士（学術）	0.45	0.40	—	平成19	同上	
芸術学研究科									昭和48	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
音響芸術専攻　修士課程	2	4	—	8	修士（芸術学）	0.37	0.75	—	昭和48	同上	
造型芸術専攻　修士課程	2	4	—	8	修士（芸術学）	0.37	0.50	—	昭和48	同上	
体育学研究科									昭和51	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
体育学専攻　博士課程前期	2	20	—	35	修士（体育学）	1.07	1.15	—	昭和51	同上	令和３年度より定員変更（5）
体育学専攻　博士課程後期	3	3	—	3	博士（体育学）	1.00	1.00	—	令和3	同上	
理学研究科									昭和43	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
数理科学専攻　修士課程	2	8	—	16	修士（理学）	0.62	0.25	—	昭和43	同上	
物理学専攻　修士課程	2	12	—	24	修士（理学）	1.58	1.58	—	昭和43	同上	
化学専攻　修士課程	2	12	—	24	修士（理学）	0.66	0.66	—	昭和43	同上	
工学研究科									昭和38	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
電気電子工学専攻　修士課程	2	50	—	100	修士（工学）	1.06	1.16	—	平成28	同上	
応用理化学専攻　修士課程	2	45	—	90	修士（工学）	1.27	1.17	—	平成28	同上	
建築土木工学専攻　修士課程	2	25	—	50	修士（工学）	1.42	1.44	—	平成28	同上	
機械工学専攻　修士課程	2	75	—	150	修士（工学）	1.33	1.45	—	平成28	同上	
医用生体工学専攻　修士課程	2	8	—	16	修士（工学）	0.25	0.25	—	平成26	神奈川県伊勢原市下糟屋143	

情報通信学研究科									平成24	東京都港区高輪2-3-23	
情報通信学専攻　修士課程	2	30	―	60	修士(情報通信学)	0.73	0.53	―	平成24	同上	
海洋学研究科									昭和42	静岡県静岡市清水区折戸3-20-1	
海洋学専攻　修士課程	2	20	―	40	修士(海洋学)	0.77	1.05	―	平成27	同上	
医学研究科									昭和55	神奈川県伊勢原市下糟屋143	
医科学専攻　修士課程	2	10	―	20	修士(医科学)	0.75	0.70	―	平成7	同上	
先端医科学専攻　博士課程	4	35	―	140	博士(医学)	0.45	0.51	―	平成17	同上	
健康科学研究科									平成11	神奈川県伊勢原市下糟屋143	
看護学専攻　修士課程	2	10	―	20	修士(看護学)	0.70	0.40	―	平成11	同上	
保健福祉学専攻　修士課程	2	10	―	20	修士(保健福祉学)	0.30	0.30	―	平成11	同上	
農学研究科									平成20	熊本県阿蘇郡南阿蘇村河陽	
農学専攻　修士課程	2	12	―	24	修士(農学)	0.70	0.25	―	平成20	同上	
生物学研究科									令和2	北海道札幌市南区南沢5条1-1-1	
生物学専攻　修士課程	2	8	―	16	修士(理学)	0.18	0.12	―	令和2	同上	
大学全体	―	563	―	1286	－	0.60	0.75	―	―	－	

大学の名称	東海大学医療技術短期大学	学生募集停止学科数	1	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				
看護学科	3	－	－	－	－	－	－	－	昭和49	神奈川県平塚市北金目4-1-2	令和２年度学生募集停止
大学全体	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の５月１日現在の状況を記入してください。（専攻科及び別科を除く）。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください

・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度ＡＣ対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和３年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

５　教員組織の状況

＜生物学研究科　生物学専攻＞

（１）ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	岡本　英治 （59） ＜令和２年４月＞ 工学博士	組織学特論 生物学研究ゼミナール１ 生物学研究ゼミナール２ 生物学研究ゼミナール３ 生物学研究ゼミナール４
専	教授	木原　稔 （55） ＜令和２年４月＞ 博士(農学)	総合生物学特論　※ 動物生理学特論　※ 栄養生理学特論 生物学研究ゼミナール１ 生物学研究ゼミナール２ 生物学研究ゼミナール３ 生物学研究ゼミナール４
専	教授	櫻井　泉 （55） ＜令和２年４月＞ 博士(水産学)	総合生物学特論　※ 無脊椎動物学特論 生物学研究ゼミナール１ 生物学研究ゼミナール２ 生物学研究ゼミナール３ 生物学研究ゼミナール４
専	教授	佐藤　陽子 （52） ＜令和２年４月＞ 博士(理学)	生殖生物学特論 生物学研究ゼミナール１ 生物学研究ゼミナール２ 生物学研究ゼミナール３ 生物学研究ゼミナール４
専	教授	ｻﾊﾞｳ ﾊﾞｼﾙ ｿﾘﾝ （52） ＜令和２年４月＞ Ph.D(ﾙｰﾏﾆｱ)	科学英語特論 数理生物学特論　※ 生物学研究ゼミナール１ 生物学研究ゼミナール２ 生物学研究ゼミナール３ 生物学研究ゼミナール４
専	教授	寺尾　晶 （52） ＜令和２年４月＞ 博士（獣医学）	総合生物学特論　※ 動物生理学特論　※ 環境生理学特論 生物学研究ゼミナール１ 生物学研究ゼミナール２ 生物学研究ゼミナール３ 生物学研究ゼミナール４
専	教授	南　秀樹 （53） ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	大気海洋環境学特論 生物学研究ゼミナール１ 生物学研究ゼミナール２ 生物学研究ゼミナール３ 生物学研究ゼミナール４

【令和２年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	岡本　英治 （59） ＜令和２年４月＞ 工学博士	組織学特論 生物学研究ゼミナール１ 生物学研究ゼミナール２ 生物学研究ゼミナール３ 生物学研究ゼミナール４
専	教授	木原　稔 （55） ＜令和２年４月＞ 博士(農学)	動物生理学特論　※ 栄養生理学特論 生物学研究ゼミナール１ 生物学研究ゼミナール２ 生物学研究ゼミナール３ 生物学研究ゼミナール４
専	教授	櫻井　泉 （55） ＜令和２年４月＞ 博士(水産学)	総合生物学特論　※ 無脊椎動物学特論 生物学研究ゼミナール１ 生物学研究ゼミナール２ 生物学研究ゼミナール３ 生物学研究ゼミナール４
専	教授	佐藤　陽子 （52） ＜令和２年４月＞ 博士(理学)	生殖生物学特論 生物学研究ゼミナール１ 生物学研究ゼミナール２ 生物学研究ゼミナール３ 生物学研究ゼミナール４
専	教授	ｻﾊﾞｳ ﾊﾞｼﾙ ｿﾘﾝ （52） ＜令和２年４月＞ Ph.D(ﾙｰﾏﾆｱ)	科学英語特論 数理生物学特論　※ 生物学研究ゼミナール１ 生物学研究ゼミナール２ 生物学研究ゼミナール３ 生物学研究ゼミナール４
専	教授	寺尾　晶 （52） ＜令和２年４月＞ 博士（獣医学）	総合生物学特論　※ 動物生理学特論　※ 環境生理学特論 生物学研究ゼミナール１ 生物学研究ゼミナール２ 生物学研究ゼミナール３ 生物学研究ゼミナール４
専	教授	南　秀樹 （53） ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	大気海洋環境学特論 生物学研究ゼミナール１ 生物学研究ゼミナール２ 生物学研究ゼミナール３ 生物学研究ゼミナール４

【令和３年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	岡本　英治 （60） ＜令和２年４月＞ 工学博士	組織学特論 生物学研究ゼミナール１ 生物学研究ゼミナール２ 生物学研究ゼミナール３ 生物学研究ゼミナール４
専	教授	木原　稔 （56） ＜令和２年４月＞ 博士(農学)	動物生理学特論　※ 栄養生理学特論 生物学研究ゼミナール１ 生物学研究ゼミナール２ 生物学研究ゼミナール３ 生物学研究ゼミナール４
専	教授	櫻井　泉 （56） ＜令和２年４月＞ 博士(水産学)	総合生物学特論　※ 無脊椎動物学特論 生物学研究ゼミナール１ 生物学研究ゼミナール２ 生物学研究ゼミナール３ 生物学研究ゼミナール４
専	教授	佐藤　陽子 （53） ＜令和２年４月＞ 博士(理学)	生殖生物学特論 生物学研究ゼミナール１ 生物学研究ゼミナール２ 生物学研究ゼミナール３ 生物学研究ゼミナール４
専	教授	ｻﾊﾞｳ ﾊﾞｼﾙ ｿﾘﾝ （53） ＜令和２年４月＞ Ph.D(ﾙｰﾏﾆｱ)	科学英語特論 数理生物学特論　※ 生物学研究ゼミナール１ 生物学研究ゼミナール２ 生物学研究ゼミナール３ 生物学研究ゼミナール４
専	教授	寺尾　晶 （53） ＜令和２年４月＞ 博士（獣医学）	総合生物学特論　※ 動物生理学特論　※ 環境生理学特論 生物学研究ゼミナール１ 生物学研究ゼミナール２ 生物学研究ゼミナール３ 生物学研究ゼミナール４
専	教授	南　秀樹 （54） ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	大気海洋環境学特論 生物学研究ゼミナール１ 生物学研究ゼミナール２ 生物学研究ゼミナール３ 生物学研究ゼミナール４

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	大橋　正臣 （45） ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	総合生物学特論　※ 数理生物学特論　※ 生態系モデリング学特論 生物学研究ゼミナール１ 生物学研究ゼミナール２ 生物学研究ゼミナール３ 生物学研究ゼミナール４
専	准教授	河合　久仁子 （45） ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	総合生物学特論　※ 脊椎動物学特論Ａ　※ 動物生態学特論　※ 動物地理学特論　※ 生物学研究ゼミナール１ 生物学研究ゼミナール２ 生物学研究ゼミナール３ 生物学研究ゼミナール４
専	准教授	北　夕紀 （38） ＜令和２年４月＞ 博士（医学）	脊椎動物学特論Ａ　※ 保全生態学特論　※ 多様性生物学特論　※ 生物学研究ゼミナール１ 生物学研究ゼミナール２ 生物学研究ゼミナール３ 生物学研究ゼミナール４
専	講師	鈴木　大 （37） ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	脊椎動物学特論Ｂ　※ 保全生態学特論　※ 動物地理学特論　※ 生物学研究ゼミナール１ 生物学研究ゼミナール２ 生物学研究ゼミナール３ 生物学研究ゼミナール４
専	講師	松井　晋 （41） ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	脊椎動物学特論Ｂ　※ 動物生態学特論　※ 生物学研究ゼミナール１ 生物学研究ゼミナール２ 生物学研究ゼミナール３ 生物学研究ゼミナール４
専	講師	武藤　望生 （34） ＜令和２年４月＞ 博士（農学）	脊椎動物学特論Ｃ 多様性生物学特論　※ 生物学研究ゼミナール１ 生物学研究ゼミナール２ 生物学研究ゼミナール３ 生物学研究ゼミナール４

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	大橋　正臣 （45） ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	総合生物学特論　※ 数理生物学特論　※ 生態系モデリング学特論 生物学研究ゼミナール１ 生物学研究ゼミナール２ 生物学研究ゼミナール３ 生物学研究ゼミナール４
専	准教授	河合　久仁子 （45） ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	総合生物学特論　※ 脊椎動物学特論Ａ　※ 動物生態学特論　※ 動物地理学特論　※ 生物学研究ゼミナール１ 生物学研究ゼミナール２ 生物学研究ゼミナール３ 生物学研究ゼミナール４
専	准教授	北　夕紀 （38） ＜令和２年４月＞ 博士（医学）	脊椎動物学特論Ａ　※ 保全生態学特論　※ 多様性生物学特論　※ 生物学研究ゼミナール１ 生物学研究ゼミナール２ 生物学研究ゼミナール３ 生物学研究ゼミナール４
専	講師	鈴木　大 （37） ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	脊椎動物学特論Ｂ　※ 保全生態学特論　※ 動物地理学特論　※ 生物学研究ゼミナール１ 生物学研究ゼミナール２ 生物学研究ゼミナール３ 生物学研究ゼミナール４
専	講師	松井　晋 （42） ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	脊椎動物学特論Ｂ　※ 動物生態学特論　※ 生物学研究ゼミナール１ 生物学研究ゼミナール２ 生物学研究ゼミナール３ 生物学研究ゼミナール４
専	講師	武藤　望生 （34） ＜令和２年４月＞ 博士（農学）	脊椎動物学特論Ｃ 多様性生物学特論　※ 生物学研究ゼミナール１ 生物学研究ゼミナール２ 生物学研究ゼミナール３ 生物学研究ゼミナール４

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	大橋　正臣 （46） ＜令和２年４月＞ 博士（工学）	総合生物学特論　※ 数理生物学特論　※ 生態系モデリング学特論 生物学研究ゼミナール１ 生物学研究ゼミナール２ 生物学研究ゼミナール３ 生物学研究ゼミナール４
専	**教授**	河合　久仁子 （46） ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	総合生物学特論　※ 脊椎動物学特論Ａ　※ 動物生態学特論　※ 動物地理学特論　※ 生物学研究ゼミナール１ 生物学研究ゼミナール２ 生物学研究ゼミナール３ 生物学研究ゼミナール４
専	准教授	北　夕紀 （39） ＜令和２年４月＞ 博士（医学）	脊椎動物学特論Ａ　※ 保全生態学特論　※ 多様性生物学特論　※ 生物学研究ゼミナール１ 生物学研究ゼミナール２ 生物学研究ゼミナール３ 生物学研究ゼミナール４
専	講師	鈴木　大 （38） ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	脊椎動物学特論Ｂ　※ 保全生態学特論　※ 動物地理学特論　※ 生物学研究ゼミナール１ 生物学研究ゼミナール２ 生物学研究ゼミナール３ 生物学研究ゼミナール４
専	講師	松井　晋 （43） ＜令和２年４月＞ 博士（理学）	脊椎動物学特論Ｂ　※ 動物生態学特論　※ 生物学研究ゼミナール１ 生物学研究ゼミナール２ 生物学研究ゼミナール３ 生物学研究ゼミナール４
専	**准教授**	武藤　望生 （35） ＜令和２年４月＞ 博士（農学）	脊椎動物学特論Ｃ 多様性生物学特論　※ 生物学研究ゼミナール１ 生物学研究ゼミナール２ 生物学研究ゼミナール３ 生物学研究ゼミナール４

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　認可申請書又は設置届出書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任，兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で，**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
・　年齢は，**それぞれの年度の５月１日時点の満年齢**を記入してください。
・　専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼担、兼任の順に記入してください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

（１）ー②担当教員表に関する変更内容

【令和２年度】

特になし。

【令和３年度】

河合久仁子准教授が令和3年4月昇格により、教授に職名変更。 武藤望生講師が令和3年4月昇格により、准教授に職名変更。

（注）・　変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**

・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

・　不要な年度（令和元年度開設であれば平成３０年度）の表は適宜削除してください。

（２） 専任教員数等

（２）－①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
4 名	3 名	3 名

（注）・　大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

（２）－②　専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計（A）	助手（A'）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	助手（B'）
7 (7)	3 (3)	3 (3)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	8	3	2	0	13	0
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
13 (13)	0 (0)	0 (0)				13	0	0			
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計（C）	助手（C'）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	助手（D'）
8 [1]	3 [0]	2 [△1]	0 [0]	13 [0]	0 [0]	8 [1]	3 [0]	2 [△1]	0 [0]	13 [0]	0 [0]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			
13 [0]	0 [0]	0 [0]				13 [0]	0 [0]	0 [0]			

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

（２）－③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
教授…65歳 准教授・講師・助教…62歳 歳	0 名	0 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④　設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{13}{13} = 100\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤　現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{13} = 0\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥　設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \text{\#DIV/0!}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）－① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					

合計（D）				後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0 人	必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

（注）・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし					

合計（F）				後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0 人	必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

（注）・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**についてに記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由
に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－③ 上記（３）－① ・ （３）－② の合計

合計（D）＋（F）				後任補充状況の集計（E）＋（G）					
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0 人	必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

（３）－④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{0}{13} = \boxed{0}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３）－⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

（注）・（３）－①、（３）－②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

（３）－⑥　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし				

合計				後任補充状況の集計							
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0　人	必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

（注）・　**定年により退職した全ての専任教員**について に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（４）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

６　附帯事項等に対する履行状況等

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
	該当なし				

（注）・　「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）　と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

７　その他全般的事項

＜生物学研究科　生物学専攻＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど
①　面接授業により授業を行う。	①　新型コロナウイルス感染症対策のため、2020年度前期においては、遠隔授業等により授業を行う。なお、実施にあたっては、面接授業に相当する教育効果を維持することに留意する。（2）

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

【ＦＤ活動】

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

「東海大学大学院常任ＦＤ委員会規程」に基づいて委員を選出し、常任ＦＤ委員会及び生物学部・生物学研究科合同ＦＤ委員会を開催している。

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

2020年度は常任ＦＤ委員会が４回、生物学部・生物学研究科合同ＦＤ委員会が３回開催され、すべての委員会に選出委員が参加している。

・常任ＦＤ委員会
第１回　2020年４月21日（火）
第２回　2020年７月21日（火）
第３回　2020年10月20日（火）
第４回　2021年１月26日（火）

・生物学部・生物学研究科合同ＦＤ委員会
第１回　2020年５月11日（月）
第２回　2020年７月６日（月）
第３回　2021年１月25日（月）

ｃ　委員会の審議事項等

2020年度のＦＤ研修会を企画・調整するとともに、2021年度のＦＤ活動計画を策定し、研究会、研修会の開催、啓発活動、授業改善への支援の実施について審議している。

②　実施状況

ａ　実施内容

2020年度は「教学マネジメントと内部質保証」及び「4つの力アセスメント」に関する研修会を２回実施した。
本年度は、授業方法について研究会、教員相互の授業参観、新任教員のための研修会等の開催に向けて研究科内で検討を進めている。

ｂ　実施方法

ＦＤ研修会は少なくとも年度間に２回は開催予定であり、研究科全教員の参加を前提にして実施する。

ｃ　開催状況（教員の参加状況含む）

「教学マネジメントと内部質保証」及び「4つの力アセスメント」に関する研修会を２回実施し、それぞれ１３名中９名および１０名の研究科教員の参加があった。

ｄ　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

ＦＤ研修会の実施内容を踏まえ、シラバス作成及び2022年度入学生への教授法の改善に反映させている。

【ＳＤ活動】

①　実施体制

　東海大学は、組織的・継続的なＦＤ活動（ＳＤ活動含む）を推進する部署として、東海大学教育支援センターを設置している。
　教育支援センターでは、教育活動の活性化を図ることを目的に、学外から講師を招き、全学共通の内容を盛り込んだ「教育支援センターＦＤ・ＳＤ研修会」を開催している。この研修会において、教員だけでなく、事務職員や技術職員などの大学職員を対象とした、管理運営や教育・研究支援までを含めた資質向上のための組織的な研修を実施している。

②　実施状況

「教育支援センターＦＤ・ＳＤ研修会」をオンラインで開催した。
開催日：2020年９月14日開催　参加者数：教職員約300名
テーマ：遠隔授業の留意点～『遠隔授業についてのアンケート』結果から見えてきたこと～

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ　実施の有無及び実施時期

　2020年度は大学院授業アンケートを春秋両学期に試行的に実施した。
　本年度についても、引き続き授業アンケートを実施する。

ｂ　教員や学生への公開状況、方法等

　2020年度アンケート結果については、大学院運営委員会で集計・報告のあった結果を研究科教授会において教員に公開した。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
　　「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

「①ａ　委員会の設置状況」関係規程等の転載

〇東海大学大学院常任ＦＤ委員会規程
（制定　2011年４月１日）

改訂　2014年４月１日　　2015年４月１日
2016年４月１日　　2020年４月１日
第１条　本学に東海大学大学院常任ＦＤ委員会（以下「本委員会」という。）を置く。
第２条　本委員会は，大学院各研究科の連携を図り，本学のＦＤ活動推進に必要な事項について，審議することを目的とする。
第３条　各研究科に，当該研究科のＦＤ活動推進に必要な事項について審議することを目的とした，ＦＤ委員会を置く。各委員会の事務及び委員会の内規は，各研究科が定めるものとする。
第４条　本委員会の構成は，次のとおりとする。
委員長：教育支援センター所長
委　員：各研究科の常任ＦＤ委員，教育開発研究センター所長，教育支援課長，各校舎教務（学）課長，委員長が必要と認める教員及び職員
第５条　本委員会は，次の事項を審議する。
（１）　ＦＤ活動実施計画に関する事項
（２）　ＦＤ活動実施方法に関する事項
（３）　その他ＦＤに関する事項
第６条　本委員会は，委員長が必要と認めたとき，これを招集し，その議長となる。
第７条　本委員会は，ＦＤ活動推進に必要な専門的事項について審議することを目的として，必要あるときは，専門委員会を置くことができる。
２　専門委員会の委員及び委員長は，本委員会委員長が指名する。
３　専門委員会の内規は，別に定める。
第８条　各研究科の常任ＦＤ委員は，各研究科のＦＤ委員会委員長があたる。
２　前項の各研究科のＦＤ委員会委員長は，研究科長が当該研究科教授会を構成する本学の専任教員の中から選出する。
３　各研究科の常任ＦＤ委員の任期は，１年とし，再任を妨げない。
第９条　本委員会が審議し決定した事項は，必要に応じて大学院運営委員会等で報告しなければならない。
第１０条　本委員会及び専門委員会の事務は，教育支援センター教育支援課が行う。
付　則
この規程は，2011年４月１日から施行する。
付　則（2020年４月１日）
この規程は，2020年４月１日から施行する。

（３） 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

（４） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本研究科は開設されて１年が経過した。2020年度は新型コロナウイルスの感染抑止のため、春学期はすべての授業が遠隔で実施されたが、ゼミナール及び研究については5月より一部対面で実施した。また、秋学期はすべての授業、ゼミナール及び研究を対面で実施した。設置の趣旨・目的の達成状況を点検評価するにふさわしい学修環境ではないものの、現時点において計画時の趣旨・目的に沿って教育研究活動が行われていると評価する。

② 自己点検・評価報告書

ａ 公表（予定）時期

本学は、『東海大学教育研究年報』に自己点検・評価報告を記載している。本研究科が記載の対象となる『東海大学教育研究年報』は令和４年３月公表予定である。

ｂ 公表方法

『東海大学教育研究年報』は、東海大学ホームページにおいて公表する。

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

本学は、令和６年度に大学基準協会の認証評価を受審する予定である。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（５） 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和３年度）

ａ 公表予定の有無 〔 有 ・ 無 〕

≪ａで「有」の場合≫

ｂ 公表（予定）時期 〔 調査結果公表後１ヶ月以内 ・ 公表後２～３ヶ月以内 ・ 公表後３ヶ月以降 〕

ｃ 公表方法 〔 ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ） 〕

≪ａで公表「無」の場合≫

ｄ 公表しない理由 〔 〕

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。